



# 早宮小だより

健康で明るい子ども よく考えて工夫する子ども 思いやりのある子ども

☎ 03(3993)5165 FAX 03(5984)0934

ホームページ URL : <http://www.hayamiya-e.nerima-ky.ed.jp/>

令和4年11月30日  
練馬区立早宮小学校  
12月号



カメラ付き  
携帯電話用  
QRコード

## 行事から学ぶ

校長 須藤 田鶴子

11月11日・12日の音楽発表会には延べ804名もの保護者の皆様にご来校いただきました。10日のリハーサルから体育館での発表を見ていましたが、12日が一番の演奏でした。指揮を見ながら皆で息を合わせてメロディを奏でたり、体でリズムをとったりして保護者の皆様から温かい拍手をいただいたことは一人一人の達成感につながったはずです。ある学年では、整列が速やかだったため、大勢のご家族を目の前にしながらしばらく待つことになった挨拶の子供たちがいました。静寂の中の待ち時間、長く長く感じて緊張が高まったに違いありません。昨日はすらすらと出た台詞がうまく出なかった場面がありましたが、隣がそっとささやいて最後まで立派にやり遂げました。

子供たちにとって保護者の皆様の参観は何よりの原動力です。事後の温かいご感想もありがとうございました。温かいお言葉は子供たちだけでなく、指導する教職員にも次への糧となります。新型コロナウイルス感染症対策として、合唱はやめ、演奏する子供たち同士の距離を第一に考え、フロアでの演奏としたり、体育発表会と同様にお子さんの学年のみの参観としたりと制限を考えなければならぬ状況下でしたが、保護者の皆様のご理解とご協力に感謝いたします。中には「毎年見てみたい。」というご意見がありましたが、本校では音楽会（今年度は音楽発表会）、学芸会、展覧会と3年で一巡しています。秋の文化的な行事を実施するにはある程度の時間をかけての準備が必要であり、他教科との兼ね合いもあるため1年で1行事となります。次年度は学芸会の予定です。

音楽発表会が無事終了し、11月21日から23日まで、5年生は岩井移動教室に行っていました。昨年度は6年生の移動教室1泊しか実施できず、昨年度の5年生であった今の6年生は涙を吞みました。しかし、今年度は当初の予定通りの二泊三日です。「礼儀・自律、自立・協力」を約束として、自分の行動や役割に責任をもち、集団活動を通して、互いの良さを認めあったり協力しあったりすることをめあてに早くから準備を始めました。1学期に各教室で6年生から移動教室についての成果やこうするとよいという話をしてもらいましたが、出発直前は、はやる気持ちが前面に出てしまい心配しました。しかし、一人一人が宣言（決意）を書き、保護者の皆様のメッセージをいただき、気持ちを引き締めて当日を迎えました。6年生の武石に比べれば半分足らずの時間で到着できる岩井ですが、約束を守ってバスの中では静かに過ごし、開校式や閉校式の挨拶も立派でした。晴天の2日目、大房岬では思い切り駆け回ったり、鴨川シーワールドでは海の生き物を間近に見学したり、最終日はマザー牧場で小動物の温かさを体感したり、ヒツジやシープドッグのショーを見学したりと雨の降るものなんのその、学校では味わえない体験を数多くしました。ともすれば緩みがちであった宿舎での生活は、引率の先生方の朝から晩までの見守りや繰り返しの声かけと指導で、5年生自身が自覚をもった行動に変わりました。帰校してからは、すすんで挨拶したり時間を守ったりする行動が見られ、嬉しく思います。今、5年生が「6年生への報告会」の準備をしています。5年生の学びを一部紹介します。

「5分前行動を学校生活に活かすとあせらずに行動できる。」「挨拶をすると自分も相手も気持ちがよくなることを学んだ。」「これからの学校生活では人に頼るだけではなく、まずは自分で考えてから行動したい。」「協力することをこれからのロング集會に活かしたい。」「学校生活でお世話になっている人にお礼を言いたい。」「遅れることをなくすために声をかけ合うことを大切にしていきたい。」

(6年生へ)「6年生に教えていただいたことを意識して3日間過ごしました。教えてくださってありがとうございました。」「6年生になったら次の5年生に5分前行動をしっかりと教えます。」「いろいろ教えていただき、ありがとうございました。おかげで6年生への1歩を歩みました。」

さて、2学期のまとめの月です。個人面談では学習の様子を中心にお話しています。苦手なことに目を背けるのではなく、少しずつでも取り組む姿勢を身に付けてください。まだまだ取り返せるはず。これからもご家庭と連携してお子さんの可能性を伸ばしていきたいと思ひます。

### 物を大切にしよう

生活指導部

物を大切にすることは、物を丁寧に扱い愛着をもって手入れしながら使うことです。学校にある学習用具や遊具の多くは、手入れをしながら何年も使用していきます。自分の物でもみんなの物でも日頃から物を大切に扱う習慣は身に付いているでしょうか。SDGs12「つくる責任つかう責任」にあるように、限りある資源を大切にしていくながら取組が必要であり、学校でも指導をしています。ご家庭でも話題にいただき、身近なところから取り組んでください。

# 12月の行事予定

月	火	水	木	金	土	日
11/28 放送朝会 体育朝会 心のふれあい週間終 あいさつ運動1年 持久走始 個人面談① 学力補充教室 1・2・3年 444444	29 朝学習 個人面談② 学力補充教室 4・5・6年 444444	30 朝読書 4年ダイバーシティ 教育プログラム ブラインドサッカー体験 教育会全体研究会 のため4時間授業 444444	12/1 地域ふれあい集会 個人面談③ 学力補充教室 1・2・3年 444444	2 書く活動 委員会活動⑧ 心のふれあい週間終 未来塾4・5年 444455	3	4
5 放送朝会 安全指導日 個人面談④ 学力補充教室 4・5・6年 444444	6 朝学習 個人面談⑤ 学力補充教室 1・2・3年 444444	7 朝読書 就学時健診予備日 455555	8 児童集会 SC 556666	9 書く活動 クリーン運動終 未来塾1・6年 455555	10 授業日【学校公開】 333333	11 学校公開の詳細につきましては、先日配布したお便りをご確認ください。
12 放送朝会 ユニセフ募金のお知らせ(代表委員) クラブ活動⑧ 未来塾2・3年 444555	13 朝学習 ユニセフ募金 555666	14 朝読書 ユニセフ募金 避難訓練 455555	15 朝学習 ユニセフ募金 縦割り班活動(昼) SC 556666	16 書く活動 455555	17 第14回学校応援団まつり 12月10日(土) 14時~16時	18
19 放送朝会 5時間授業 445555	20 朝学習 スクールガード理事会 555666	21 児童集会 B時程 455555	22 朝学習 6年社会科見学 SC 556666	23 2学期終業式 給食終 持久走終 455555	24	25 2学期終
26 冬季休業日 3学期始 444444	27 444444	28 学校休務日 455555	29 455555	30 455555	31 31	1/1 元日
2 振替休日 444444	3 444444	4 学校休務日 455555	5 556666	6 555555	7 333333	8
9 成人の日 444444	10 3学期始業式 給食始 444444	11 朝読書 安全指導日 455555	12 なわとび集会 なわとびタイム始 556666	13 書く活動 登校指導 555555	14 授業日 校内書き初め展始 333333	15

※SC：スクールカウンセラー勤務日

※各日の数字は授業時数です。一番左が1年生、一番右が6年生です。

## ☆お知らせ と お願い☆

### ○地域ふれあい集会

12月1日(木)「地域ふれあい集会」を行います。代表委員会の児童が中心となって、学校応援団の取組を調べたり、インタビューをしたりして、スライドにまとめました。子供たちが、いつもお世話になっている学校応援団の皆様の活動を知り、感謝の気持ちや親しみをもつ機会にしたいと思っています。インタビューにご協力いただきありがとうございます。

### ○冬季休業中の教職員の勤務

教職員の勤務は、年末が12月27日(火)まで、年始は1月5日(木)からです。電話対応は、8時15分～16時45分までとなります。12月28日(水)と1月4日(水)は、学校施設管理員のみが出勤しますが、諸々の問い合わせはご遠慮ください。

### ○3学期始業式

令和5年1月10日(火)は始業式です。通常どおりの登校です。全学年4時間授業で給食があります。持ち物は、学年の指示に従ってください。

### ○セキュリティ強化のために学校ホームページのURL(サイト表示するためのアドレス)を変更します。

変更後のURL <https://www.nerima-tky.ed.jp/hayamiya-e/> 12月4日(月)より

## 体力向上の取組～持久走～

学級の体育の時間に持久走に取り組みます。取組期間は、11月28日(月)～12月23日(金)です。期間中は「持久走がんばりカード」に自分の記録を記入します。また、12月中に各学年や学級で記録会の日を設定して、持久走の記録を計測します。これからの寒い時期を元気に乗り越えられるように、自分のペースで目標に向かって一生懸命に走り、体力の向上につなげていきます。「密にならない」「走り終えた後は距離をとってクールダウンをする」などの感染予防策を徹底しながら、持久走に取り組んでいます。